

< 介護・医療連携推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社 太陽メディケアサービス	事業所名	メッツ川崎ヘルパーステーション
所在地	(〒 940-0864) 新潟県長岡市川崎2丁目2478番地1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・要介護者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう生活全般にわたるケアサービスを行う。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019 年 9 月 30 日	従業者等自己評価 実施人数	(17) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 2 月 10 日	出席人数(合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員(3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員(1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員(1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者(1 人) <input type="checkbox"/> 利用者(0 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族(1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者(1 人) <input type="checkbox"/> その他(0 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修を行い事業所の方向性、理念について職員一人ひとりが理解できるように努める。 ・介護医療連携推進会議への職員の参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念は掲示することで周知した。外部講師を招き研修を実施し、定期巡回サービスについて理解が出来た。 ・介護医療連携推進会議の職員参加は出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所理念については掲示することで意識できているが、継続して意識できるように発信していく必要がある。 ・介護医療連携推進会議の他職員の参加を目指す。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回サービスの理解についてミーティング等を活用し理解を深める。 ・今後のご利用者様の状態変化を見逃さず援助を行うため、外部講師も招く法人内研修に参加し職員一人ひとりのスキルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招き定期巡回サービスについて研修を実施した。 ・法人内研修には全員が出席出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いた定期巡回サービスの研修を実施したことで理解が深まった。 ・事業所内研修を充実させるとよい。 ・新人職員にもわかりやすい研修を開催してもらいたい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマル、インフォーマルサービスや包括的なサポート体制への提案ができるように地域資源について学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて事業所内研修を行った。 ・地域資源の活用までは至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて事業所内研修を行ったことで理解が深まったが活用には至っていない。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の民生委員の方にも介護医療連携推進会議に出席いただけるよう働きかけていく。 ・広報を作成し、近隣の回覧板等で周知活動をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の民生委員の方に働きかけは出来なかった。 ・広報は作成できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターへの働きかけを行ってみてはどうか。 ・広報やチラシの作成をしてみてもどうか。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な援助の中で目標の達成や利用者の気持ちを汲み取り、寄り添った計画を立て、援助を行う。 ・ご利用者様の状況を把握したうえで自 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の援助の中でニーズの把握に努め、援助内容を変更しADLの維持向上に努めた。 ・要望をくみ取りながらご利用者様との 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に近づいているかどうか、職員間で共有し、利用者の声も含め総合的に判断してほしい。 ・利用者、ご家族共に安心できるサービ 	

	立に向けた目標を立て、援助する。 ・ 苦情や要望を伝えやすい信頼関係を築くよう風通しの良い事業所運営に努める。	信頼関係を築いた。	スの提供をしてもらいたい。
--	--	-----------	---------------

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念は掲示することで周知した。外部講師を招き研修を実施し、定期巡回サービスについて理解が出来た。 ・ 介護医療連携推進会議の職員参加は出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き理念を意識できるよう職員へ働きかける。 ・ 介護医療連携推進会議に他職員の出席を促す。 ・ 事業所内研修を充実させる。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師を招き定期巡回サービスについて研修を実施した。 ・ 法人内研修には全員が出席出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内研修を充実させる。 ・ 引き続き法人内研修に出席する。 ・ 新規入職者への研修を充実させる。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師を招いて事業所内研修を行った。 ・ 地域資源の活用までは至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板で回って来る地域情報を必要に応じて利用者へ発信周知する。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の民生委員の方に働きかけは出来なかった。 ・ 広報は作成できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎2丁目以外の民生委員へ出席を働き掛けていく。 ・ 広報を作成し、定期巡回サービスの周知を図っていく。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の援助の中でニーズの把握に努め、援助内容を変更しADLの維持向上に努めた。 ・ 要望をくみ取りながらご利用者様との信頼関係を築いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者一人ひとりが目標に近づいているかどうか、職員間で共有し利用者の要望も伺いながらサービスの提供を行う。 	

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します